

Frontier Spirit



証券コード 7643



第60期 年次報告書

平成25年10月1日～平成26年9月30日





代表取締役社長 鈴木 達雄

株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして、まことにありがとうございます。

ここに当社の第60期（平成25年10月1日～平成26年9月30日）の概要についてご報告いたします。

今後も、社業の発展に努めるとともに、社業を通じ社会の発展に貢献できるよう邁進いたす所存でありますので、引き続きご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

現地・現場・現品主義の徹底 現状に甘んじることなく、更なる飛躍を目指します。

第60期の業績報告 9期連続増収増益

当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻くスーパーマーケット業界は、消費税率の引き上げや電気料金の値上がりなど、実質所得の減少による消費者の生活防衛意識の高まりから低価格及び節約志向が強まる中で、同業他社に加え、ディスカウント業態やドラッグストアとの低価格競争の激化により、引き続き厳しい経営環境にありました。

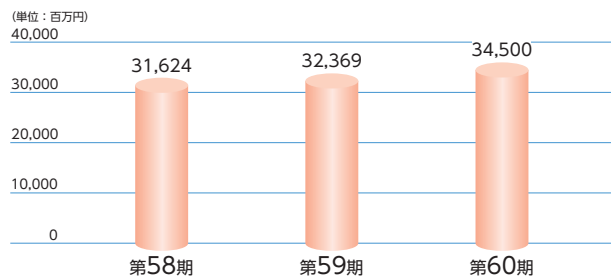
このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持と信頼をいただけるよう、安心で安全な商品の提供に努めるとともに、「お客様の立場で」考えた店作りを進めてまいりました。また、株式会社イトーヨーカ堂（以下、「イトーヨーカ堂」という。）との業務提携効果の具現化による収益力の向上、現地・現場主義の徹底による店舗における営業力の強化、

新店舗の開発と既存店舗の活性化、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上などを図り、競争に耐えうる強い企業体質の実現に取り組んでまいりました。

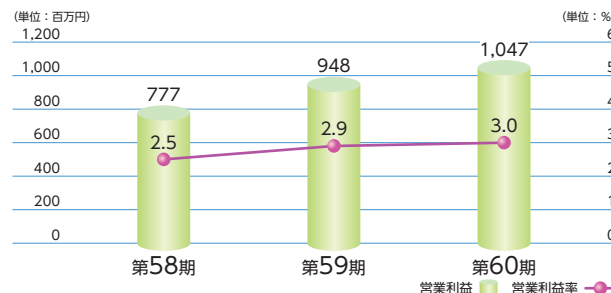
イトーヨーカ堂との提携につきましては、プライベートブランド「セブンプレミアム」及び「セブンゴールド」を、新店の「音更店」から導入を開始し、1月末までに全店舗の導入を完了いたしました。また、1月より仕入コストの低減を目指し、食品と菓子を中心に仕入先（帳合先）をイトーヨーカ堂と統一いたしました。このほか、株式会社セブン銀行のATMを「清田店」に設置、株式会社セブン・フィナンシャルサービスとのリース契約及び損害保険契約の締結によるコスト削減など、着実に進んでおります。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は345億円（前期比6.6%増）、営業利益は10億47百万円（前期比10.5%増）、経常利益は10億24百万円（前期比16.4%増）、当期純利益は6億28百万円（前期比19.5%増）となりました。

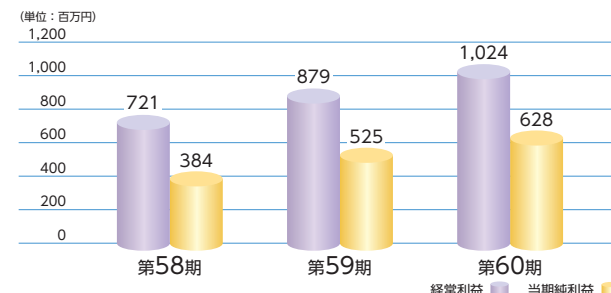
売上高 **34,500** 百万円 **前期比 6.6% ↑**



営業利益／営業利益率 **1,047** 百万円 **前期比 10.5% ↑**



経常利益 **1,024** 百万円 **前期比 16.4% ↑** 当期純利益 **628** 百万円 **前期比 19.5% ↑**



第60期の主な取組み

店舗展開として、平成25年11月、河東郡音更町木野に「音更店（帯広ブロック）」、及び札幌市清田区清田に「清田店（札幌ブロック）」を開店し、お客様の利便性の向上と更なる支持拡大に努めております。

売上総利益率につきましては、価格競争が厳しさを増す中で、ロスの削減と仕入の見直しによるコストダウン、イトーヨーカ堂との提携効果などにより、前期に比べ0.6ポイント改善し、24.0%となりました。

また、作業計画と連動した労働時間管理の徹底、既存店舗の節電対策としてLED照明と省電力空調の設備投資を4店舗で実施するなど、経費削減の取組みを継続しております。さらに、経営課題へのスピード対応と役割の強化を図るため、平成26年9月11日付で組織変更を行い、

「営業本部」の傘下に「販売本部」と「商品本部」を新設いたしました。



LED照明



十勝フェア開催

利益還元について

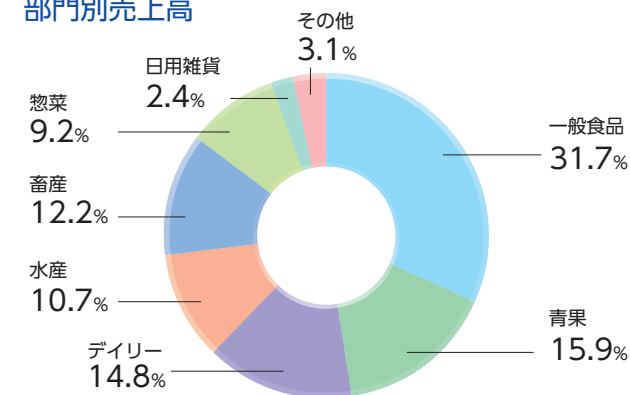
当社は、株主各位に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。財務体質の強化と安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、長期的に安定した配当の継続を基本方針としております。当期の期末配当につきましては、1株につき普通配当15円といたしました。

配当金の推移

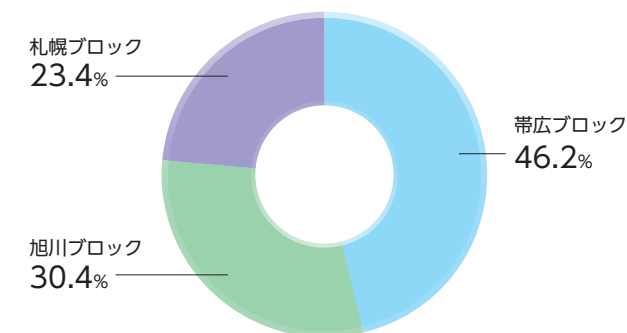
第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
15.00円	15.00円	15.00円	17.00円	15.00円

(注) 第59期の配当金には、記念配当2.00円が含まれております。

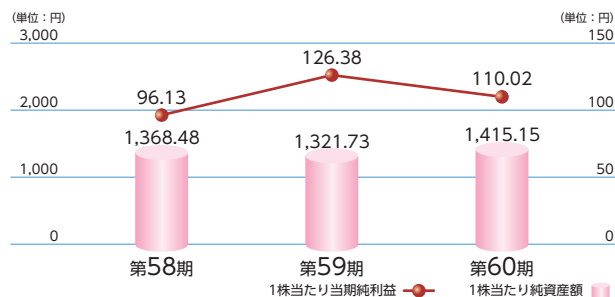
部門別売上高



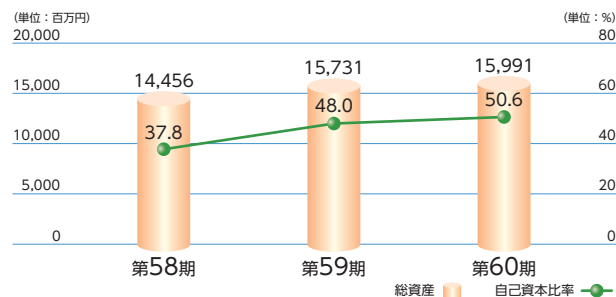
地域別売上高



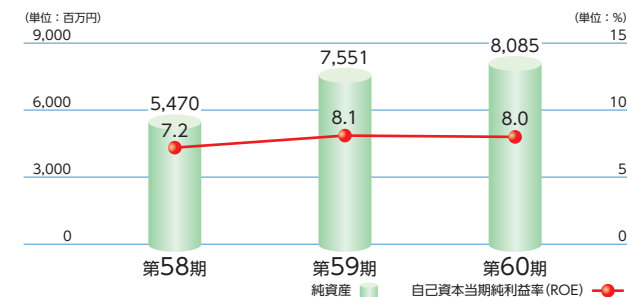
1株当たり純資産額(左軸) / 1株当たり当期純利益(右軸)



総資産 / 自己資本比率



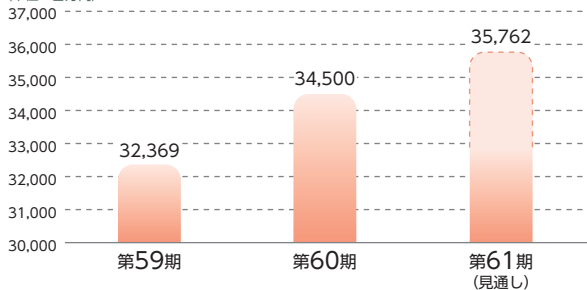
純資産 / 自己資本当期純利益率 (ROE)



第61期(平成27年9月期)の見通し

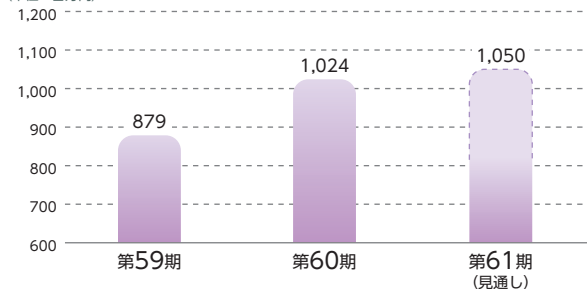
売上高

(単位：百万円)



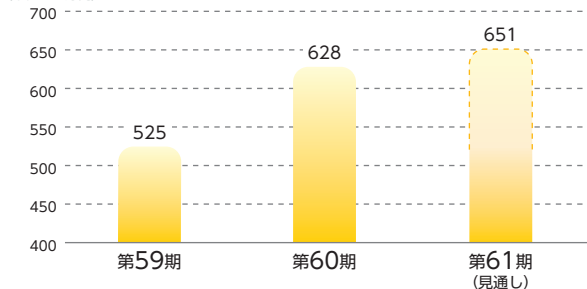
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



個人消費の持ち直しや設備投資の増加、円安や海外景気の回復を背景にした輸出の増加などにより、先行きの景気は、緩やかな回復軌道に復すると見込まれておりますが、スーパーマーケット業界におきましては、エネルギー価格や原材料価格の上昇、実質所得の減少による消費抑制、人材の確保難に加え、異業態を含めた価格競争の継続など、引き続き厳しい局面が続くものと予想されます。また、北海道経済におきましては、2年連続の電気料金の値上げでさらに厳しい環境におかれているものと思われまます。

このような経営環境のもとで当社グループは、イトーヨーカ堂との業務提携の第2ステージに向けて、生鮮を中心とした、北海道エリアにおける同社との商品開発及び物流システムの構築、それによる高品質商品の追求とコスト削減を徹底し、お客様に満足していただける店作りを推進してまいります。

お客様の満足度向上策の一環として、10月度より音更店及び清田店にポイントカード「フレカ」を導入いたしました。平成27年4月度からは帯広及び札幌ブロックの全店に導入を予定しており、販売促進企画の充実に努めてまいります。これにより、旭川ブロックを含め全ての店舗において「フレカ」の利用が可能となります。また、平成27年2月頃全店に、電子マネーのnanacoを導入するとともに、チャージ機を設置



いたします。

店舗の新設につきましては、平成27年4月頃に札幌ブロックにおいて、恵庭市恵み野に新規出店を予定しております。既存店強化策としては、2店舗の改装を予定しております。

また、ロスの削減と仕入の見直しによる売上総利益率の改善と経営資源の適正利用による諸経費の削減を推進し、収益力の強化にも引き続き取り組み、業容の拡大と更なる企業価値の向上を目指してまいります。

今後も当社グループは、「お客様の毎日の食生活を、より楽しく、より豊かに、より便利にするためのお手伝いをする」とともに、お客様の安全で安心できる生活を守る努力を続けてまいります。

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、売上高357億62百万円（前期比3.7%増）、営業利益10億83百万円（前期比3.4%増）、経常利益10億50百万円（前期比2.6%増）、当期純利益6億51百万円（前期比3.6%増）を見込んでおります。

見通しに関する注意事項

この年次報告書に記載されている計画、戦略及び業績見通しなどは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んでおります。従って実際の業績は、さまざまな要因により、これらと異なる場合があります。

連結貸借対照表 (概要)

前期末
(平成25年9月30日)

当期末
(平成26年9月30日)

(単位：百万円)

資産合計
15,731

資産合計
15,991

現金及び預金 1,954	流動資産 3,385	現金及び預金 1,865	流動資産 3,475
商品及び製品 843		商品及び製品 961	
他 588		他 649	
有形固定資産 10,398	固定資産 12,345	有形固定資産 10,204	固定資産 12,515
無形固定資産 15		無形固定資産 14	
投資 その他の資産 1,931		投資 その他の資産 2,296	

前期末
(平成25年9月30日)

当期末
(平成26年9月30日)

(単位：百万円)

負債純資産合計
15,731

負債純資産合計
15,991

流動負債 4,116	負債合計 8,179	流動負債 4,234	負債合計 7,906
固定負債 4,063		固定負債 3,671	
株主資本 7,541	純資産 合計 7,551	株主資本 8,072	純資産 合計 8,085
その他の包括 利益累計額 10		その他の包括 利益累計額 12	

POINT 1

資産の部

流動資産は、主に商品及び製品の増加により、前期末に比べ90百万円増加となりました。固定資産は、主に土地の減少の一方、音更店及び清田店出店の伴う敷金及び保証金、リース資産の増加により、前期末に比べ170百万円増加しました。この結果、資産合計は、前期末に比べ260百万円増加し、15,991百万円となりました。

POINT 2

負債の部

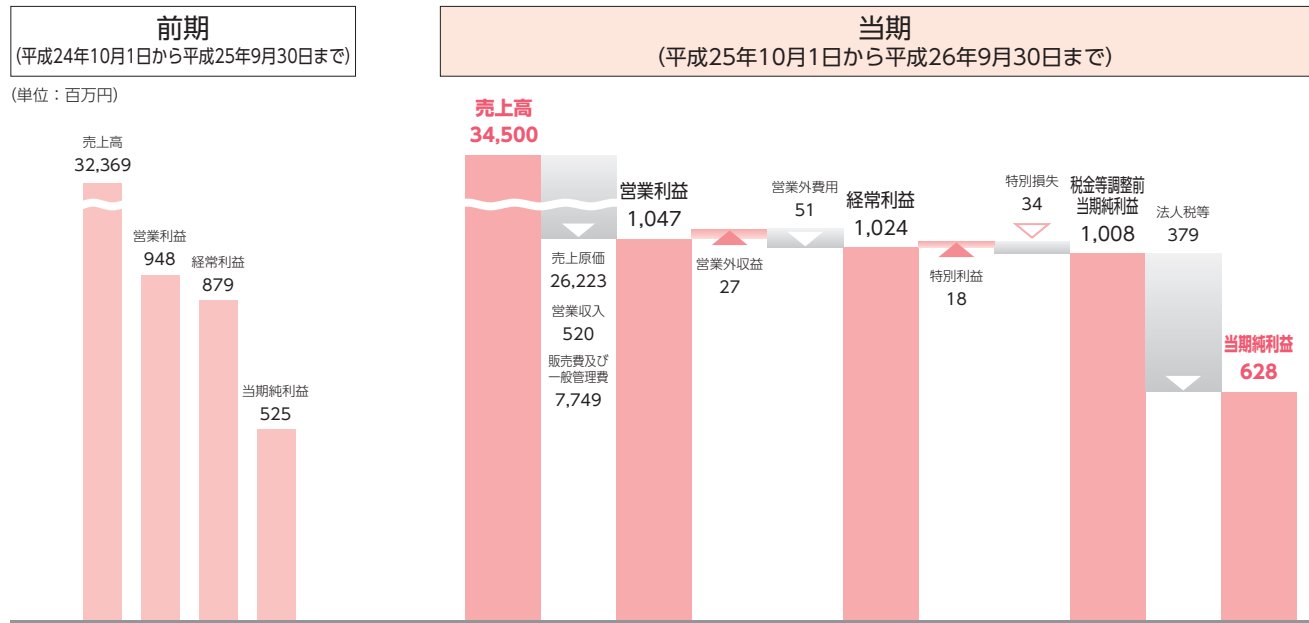
流動負債は、主に1年内返済予定の長期借入金や短期借入金が減少しましたが、買掛金及び未払消費税等の増加により、前期末に比べ118百万円増加しました。固定負債は、主に長期借入金の減少により、前期末に比べ392百万円減少しました。この結果、負債合計は、前期末に比べ273百万円減少し、7,906百万円となりました。

POINT 3

純資産の部

利益剰余金の増加により、前期末に比べ533百万円増加し、8,085百万円となりました。

連結損益計算書 (概要)



POINT 4

連結損益計算書

音更店及び清田店の開店、既存店の売上が堅調に推移したことにより売上高が増加となりました。

イトーヨーカ堂との提携効果等により売上総利益率の改善、節電対策としてLED照明の導入等、経費削減に努め、経常利益は、前期末に比べ144百万円増加し、1,024百万円となりました。

POINT 5

営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、税金等調整前当期純利益1,008百万円、減価償却費550百万円、仕入債務の増加額201百万円等に対し、法人税等の支払額374百万円、たな卸資産の増加額119百万円等によるものです。

POINT 6

投資活動によるキャッシュ・フロー

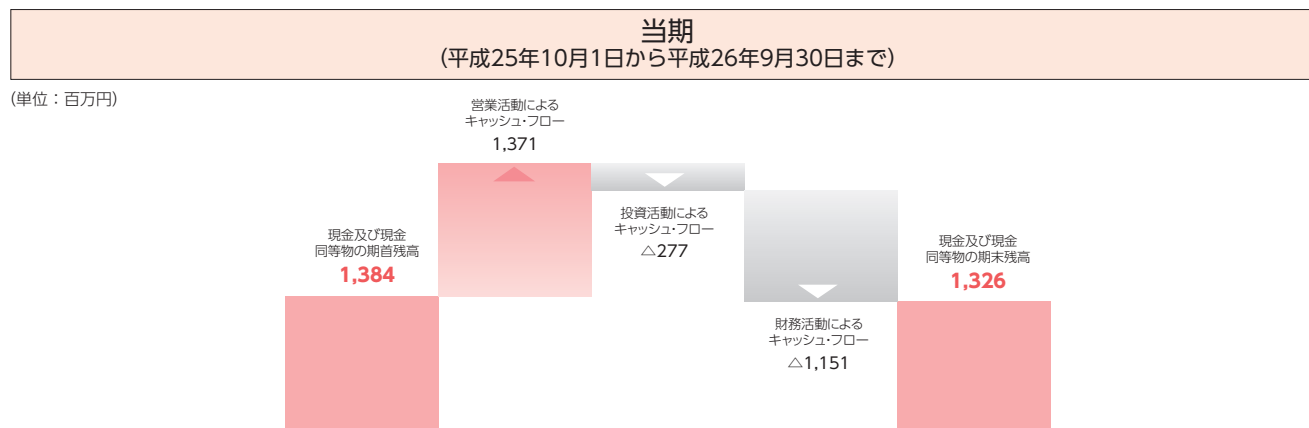
主に、建設協力金の支払による支出269百万円、敷金及び保証金の差入による支出244百万円、有形固定資産の取得による支出177百万円等に対し、有形固定資産の売却による収入243百万円、定期預金の払戻による収入206百万円等によるものであります。

POINT 7

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、長期借入金の返済による支出781百万円、リース債務の返済による支出243百万円等によるものであります。

連結キャッシュ・フロー計算書 (概要)

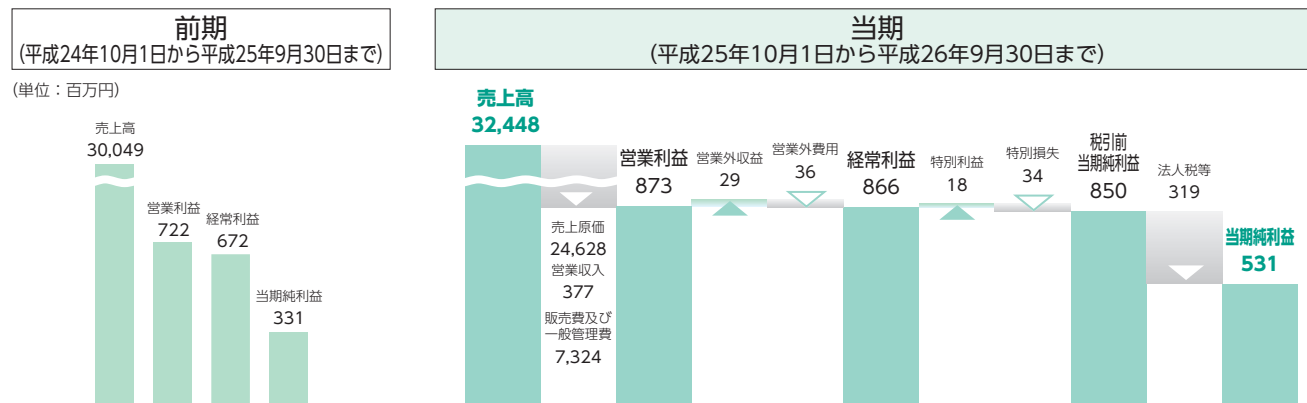


貸借対照表 (概要)

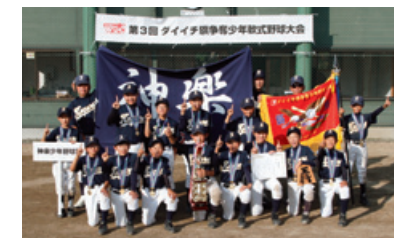
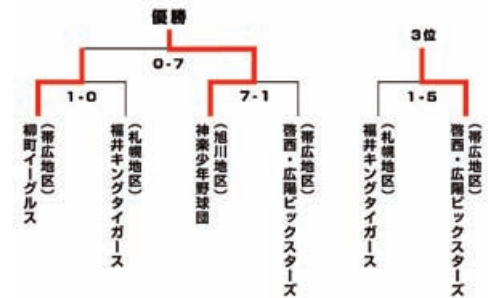
前期末 (平成25年9月30日)		当期末 (平成26年9月30日)	
資産合計 13,843		資産合計 14,292	
主なもの 現金及び預金 1,875	流動資産 3,354	主なもの 現金及び預金 1,820	流動資産 3,476
有形固定資産 8,226	固定資産 10,488	有形固定資産 8,085	固定資産 10,816
無形固定資産 14		無形固定資産 13	
投資 その他の資産 2,247		投資 その他の資産 2,716	

前期末 (平成25年9月30日)		当期末 (平成26年9月30日)	
負債純資産合計 13,843		負債純資産合計 14,292	
流動負債 3,777	負債合計 6,912	流動負債 4,001	負債合計 6,925
固定負債 3,135		固定負債 2,924	
株主資本 6,920	純資産 合計 6,930	株主資本 7,354	純資産 合計 7,366
評価・換算 差額等 10		評価・換算 差額等 12	

損益計算書 (概要)



今年で3回目を迎える少年軟式野球大会は、帯広・旭川・札幌の3地区で各8チームが参加して予選を行い、各地区優勝チーム(開催地の帯広地区は2チーム)により全道大会が行われました。



《優勝》神楽少年野球団



おとふけ 音更店オープン

平成25年11月2日、河東郡音更町木野に音更店がオープンしました。

音更店は、帯広から北へ向かう国道241号線沿いのコカ・コーラ跡地の複合商業施設にあります。複合商業施設には、ホームック、サンキ、ブックオフ、CoCo壱番屋、北海道銀行が揃い、駐車場905台を確保し、利便性に優れています。

イトーヨーカ堂との提携企画第一弾として、プライベートブランド「セブンプレミアム」、ワンランク上の「セブンゴールド」等、約470アイテムを、当社で初めて導入した音更店では、試食販売が行われ、多くのお客様で賑わいました。

営業時間 10：00～21：45

テナント お菓子、ミスタードーナツ、クリーニング、信金ATM



きよた 清田店オープン

平成25年11月30日、札幌ブロック4店舗目の清田店がオープンしました。

清田店は、国道36号線と並行して走る羊が丘通り沿いの三八五札幌運輸跡地にできました。隣にはツルハがあり、駐車場200台を確保しております。約650坪の売場面積で、水産コーナーでは魚を捌く様子が見られる対面コーナーを設置し、お客様に喜ばれております。「セブンプレミアム」「セブンゴールド」も音更店と同様、試食販売を積極的に行いました。また、セブン銀行のATMを当社では初めて設置し、利便性の向上に努めました。

営業時間 10：00～22：00

テナント お菓子、ベーカリー、クリーニング、セブン銀行ATM



ポイントカード 「Freca（フレカ）」の導入

平成26年10月1日より音更店及び清田店では、ポイントカード「Freca」を導入しました。平成27年4月度からは帯広及び札幌ブロックの全店で導入を予定しており、すでに導入している旭川ブロックを含めて全ての店舗において「Freca」の利用が可能となります。



電子マネーnanacoを導入へ

また、平成27年2月頃全店に、電子マネーのnanacoを導入するとともに、チャージ機を設置します。これからも皆様に愛され親しまれる店作りにダイイチは努力を続けてまいります。



株主優待のお知らせ

平成26年9月期の株主優待は下記のとおりです。
 1,000株未満保有の株主の皆様へは年次報告書（本誌）に同封しております。
 1,000株以上保有の株主の皆様は選択制となりますので、平成27年1月末日までにお申込み書のはがきをご返送ください。

希望申込受付期間
お申込みがない場合

平成27年1月末日到着分まで
 ① 店舗のある地域（十勝支庁管内、上川支庁管内、石狩支庁管内）の株主様に対し、当社商品券を贈呈します。
 ② 店舗のない地域の株主様に対し、北海道特産品メロン2玉を贈呈します。

注 意 事 項

- ・昨年、無記入のまま投函された方がいらっしゃいました。投函する前にもう一度ご確認ください。シールは何度でも使えます。
- ・株主名が法人の場合、会社名をお書きください。（社長様名だけではわかりかねます。）
- ・ご希望の時間にはお届けできない場合がありますので、ご了承ください。

個人情報について
 いただいた個人情報は、この優待商品のお届けのみにご利用させていただきます。

所有株式数	VJAギフトカード		VJAギフトカード								
100～499株	 1,000円分	500～999株	 2,000円分								
1,000株以上	VJAギフトカード	当社商品券	グリーンアスパラ	でんすけ西瓜	メロン (夫婦キングルビー)	北海道旬の味覚 (農産物セット)					
	 A 4,000円分	or	 B 4,000円分	or	 C	or	 D	or	 E	or	 F
商品の発送	2月下旬		2月下旬		収穫時季の5月下旬 ～6月初旬		収穫時季の7月 ～8月上旬		収穫時季の7月上旬 ～下旬		収穫時季の10月中

いずれかひとつお選びいただけます。

優待商品お申込み書のはがきのプライバシー保護シールをいったんおはがしになりご記入ください。

D でんすけ西瓜の紹介

「でんすけ」は、稲の転作作物として田を助けるといふ「田助」などにちなんで名づけられました。しゃりしゃりとした食感と甘さ、磨くと黒光りする濃緑色の表面が特徴で、直径が約30cmほどの大玉ですが、とてもみずみずしいです。今年6月の初競りでは、旭川市場で1玉35万円で競り落とされました。

F 北海道旬の味覚（農産物セット）の紹介

株主様からのご希望が多かったじゃがいもが、いよいよ株主優待に加わります。メークイン、男爵、玉ねぎ、かぼちゃのセットになっています。お届けは特産品の中でも一番遅く、来年10月頃の発送となります。お申込みから約1年お待ちいただくこととなりますが、必ずお届けいたします。

株主の皆様のお声を聞かせてください。

株主様向けアンケート



※専用のアクセスコードが必要です。

株主アンケートは、当社のホームページが入口となっております。

下記のURLにアクセスしていただきますと、上記のバナーがあります。そのバナーをクリックすると、下記の画面が表示されます。

アクセスコードを入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

アンケートにご回答いただいた株主様の中から、抽選で25名様に図書カード1,000円分を進呈させていただきます。

<http://www.daiichi-d.co.jp/>
アクセスコード skyd7643

アクセスコードは半角英数字でご入力ください。

※アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約1か月の平成27年1月31日までです。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いします。

なお、昨年のアンケート結果は、当社ホームページ(IR情報のIRライブラリー)でご覧いただけます。

株主様向けアンケート 認証画面

アクセスコードを入力し【認証する】ボタンを押してください。
※アクセスコードは年次報告書に記載されています。

アクセスコード



● 帯広ブロック

壱	号	店	帯広市西1条南10丁目14		
東		店	帯広市東4条南12丁目1		
啓	北	店	帯広市西12条北4丁目1		
め	む	ろ	店	河西郡芽室町東6条9丁目1	
白	樺	店	帯広市白樺16条西2丁目2		
み	な	み	野	店	帯広市南の森東1丁目1
札	内	店	中川郡幕別町札内共栄町164		
自	衛	隊	前	店	帯広市南町南6線28-3
音	更	店	河東郡音更町木野大通東12丁目3		

〔センター〕

惣	菜	セ	ン	タ	ー	帯	広	市	西	20	条	南	1	丁	目	14		
帯	広	配	送	セ	ン	タ	ー	帯	広	市	西	20	条	南	1	丁	目	14

〔子会社〕

株	式	会	社	オ	ー	ケ	ー	河	東	郡	音	更	町	木	野	大	通	西	17	丁	目	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---

(注) 平成25年11月2日に音更店、同月30日に清田店を出店いたしました。また、平成25年10月7日に上富良野店を譲渡いたしました。

本社(営業本部 管理本部)

北海道帯広市西20条南1丁目14-47

旭川本部

北海道旭川市春光1条8丁目1-77

札幌本部

北海道札幌市西区八軒10条東5丁目2

● 旭川ブロック

西		店	旭川市2条通4丁目134	
東	光	店	旭川市東光12条6丁目203	
未	広	店	旭川市未広1条7丁目265	
東	旭	川	店	旭川市東旭川北1条1丁目3
旭	町	店	旭川市旭町1条7丁目2631	
二	条	通	店	旭川市2条通23丁目110
花	咲	店	旭川市春光1条8丁目1-77	

〔センター〕

旭	川	配	送	セ	ン	タ	ー	旭	川	市	流	通	団	地	2	条	3	丁	目	15
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

● 札幌ブロック

八	軒	店	札幌市西区八軒10条東5丁目2				
白	石	神	社	前	店	札幌市白石区本通13丁目北3番39	
発	寒	中	央	駅	前	店	札幌市西区発寒10条3丁目1-11
清	田	店	札幌市清田区清田2条3丁目				

会社概要

商号 株式会社ダイイチ
 本社所在地 北海道帯広市西20条南1丁目14番地47
 会社設立 昭和33年7月11日
 資本金 1,639,253千円
 社員数 261名 (正社員)
 965名 (パートナー社員等、8時間換算)
 主要な事業内容 当社は、食料品主体のスーパーマーケットを展開しており、これに附帯する業務として不動産賃貸業務等を行っております。

役員 (平成26年12月24日現在)

代表取締役会長	小西保男
代表取締役社長	鈴木達雄
専務取締役	若園清
取締役	川瀬豊秋
取締役	中本泰廣
取締役	野口一
社外取締役	内藤龍信
社外取締役	宮川明
社外取締役	井雲康晴
常勤監査役	堀内健三
社外監査役	佐藤裕
社外監査役	笹井祐三

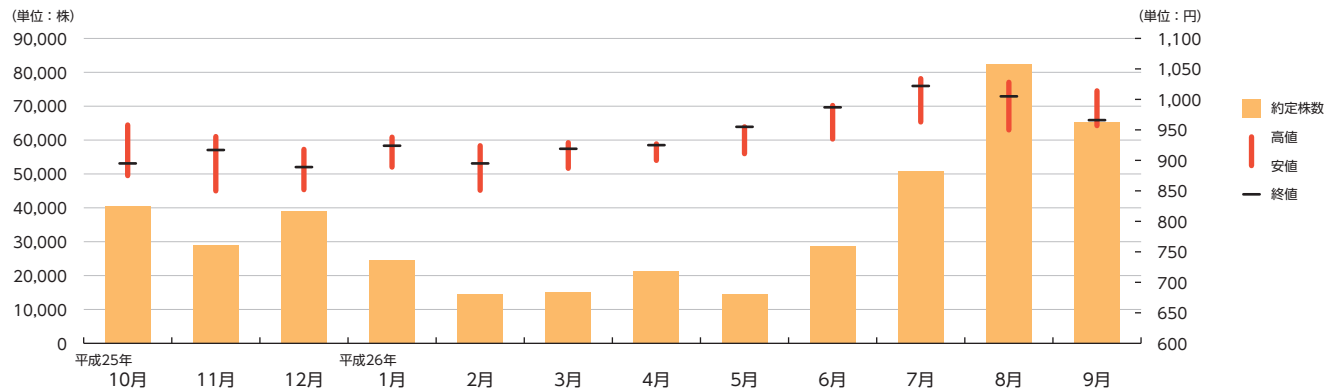
株式の状況

①発行可能株式総数 12,000,000株
 ②発行済株式の総数 5,719,320株
 ③株主数 2,415名
 ④大株主

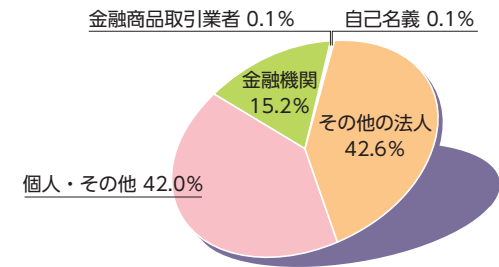
株主名	持株数	持株比率
株式会社イトーヨーカ堂	1,716,000株	30.03%
ダイイチ取引先持株会	223,800	3.91
小西典子	188,110	3.29
株式会社北陸銀行	176,520	3.08
株式会社北洋銀行	170,000	2.97
若園清	124,300	2.17
株式会社商工組合中央金庫	115,200	2.01
小西保男	105,378	1.84
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	100,800	1.76
笹井俊治	87,184	1.52

(注) 持株比率は自己株式 (5,946株) を控除して計算しております。

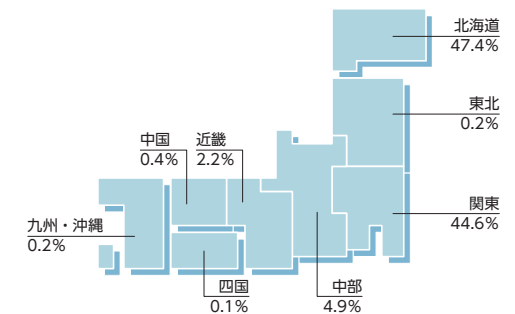
株価チャート



所有者別株式数分布状況



地域別株式数分布状況



株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料)

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求等）につきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。

特別口座（※）に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所	東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) 証券会員制法人札幌証券取引所
証券コード	7643
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.daiichi-d.co.jp/IR/ir/account.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

※ 特別口座とは、株券電子化施行までに証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主等の権利を保全するために開設した、口座のことです。法令に従い、名義人名で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座に記載されています。配当金は受け取れますが、株式の売買はできません。証券口座への振替が必要となりますので、上記連絡先にお問い合わせください。



TEL 0155-38-3456 (代表)

FAX 0155-38-3434

<http://www.daiichi-d.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは、企画IR部までお願いいたします。

